

近代日本のグローバル戦略

国際人金子堅太郎



国際文化学部
日本文化学科
教授
酒井 一臣

研究シーズの紹介

この研究では、福岡出身の金子堅太郎（1853-1942）の国際人としての活躍を探ります。金子は、明治憲法の起草者の一人であり、グローバル人材として、広報外交や日米間の諸問題解決に活躍しました。
福岡ですら知名度の低い金子の活躍を調査することで、①福

岡出身の偉人を紹介することで、地域の歴史に興味を持つ人々に情報を提供し、②近代日本のグローバル戦略の光と陰を明らかにし、現代日本のグローバル化がどうあるべきかを考察します。



近代日本史から 現代社会への教訓

- 福岡出身の偉人についての情報を提供できます。
- 現代社会の喫緊の課題についての教訓を得られます。

福岡から世界へ



- | | |
|----------|-------------|
| 金子堅太郎の足跡 | 21世紀の日本の課題 |
| 明治憲法の起草 | → 改憲問題 |
| 日系移民排斥問題 | → 入管法改正 |
| 産業振興 | → 産業のグローバル化 |
| 修猷館再興 | → 教育改革 |

グローバル
時代の日本
への提言

金子から学んだことを、一般向けに発信



- ・ 福岡の歴史からグローバル世界を考察
- ・ なぜ国際人が生まれたのか？福岡の地政学

期待される活用シーン

● 近代の福岡の歴史を知りたい



国際人金子堅太郎の足跡を追う。

● 近代福岡の歴史遺産を知りたい



金子堅太郎ゆかりの地
生誕記念碑
修猷館高校



その他の研究テーマ

近代日本の西洋文明受容
近代日本の国際秩序観